

# 第49回保団連大会で発言

## 矢部代議員 都構想ストッパーへ

東京



保団連大会で発言する矢部代議員  
理事 1月26日、東京都内

全国保険医団体連合会の活動方針や執行体制などを決める第49回定期大会が1月25、26日、東京都内で開かれ、協会から小澤力理事長と兵頭正道理事が保団連理事に選出された(いずれも再任)。

大会には代議員として矢部あづさ副理事長、平尾清司、玉川尚美の両理事が、大会議長として戸井逸美副理事長が参加した。

「都構想」が大阪市の財源と権限を奪い、カジノをはじめとするベイエリアの大型開発に注ぎ込むことが狙いであると批判した。

大型開発だけでなく、

庁舎建設や職員増などで膨大なコストがかかり医療や福祉など暮らしの予算が削られると指摘し、「暮らし、医療・福祉を充実させ、府民が安心して歯科医療にかかれるような大阪にするために、『都構想・カジノストップ!』の取り組みを強めていく」と訴えた。

「都構想」が大阪市の財源と権限を奪い、カジノをはじめとするベイエリアの大型開発に注ぎ込むことが狙いであると批判した。

「都構想」が大阪市の財源と権限を奪い、カジノをはじめとするベイエリアの大型開発に注ぎ込むことが狙いであると批判した。

「都構想」が大阪市の財源と権限を奪い、カジノをはじめとするベイエリアの大型開発に注ぎ込むことが狙いであると批判した。



## 臨床学術部 スタッフ講習で研鑽

バキュームテクニック  
臨床学術部は1日、「バキュームテクニック」講習会をとももと歯科医院(港区)で開き、15人が参加した(写真右)。富本昌之副理事長と衛生士が講師を務めた。参加者はバキュームの基本操作などを踏まえ、班に分かれ医師・アシスタント・患者役を体験する実習でバキュームの当てる姿勢、禁忌部位やバキューム位置などを学んだ。

- 1・30国会行動 要請議員一覧
- 協会が1月30日に実施した国会行動で要請した議員は次の通り。
- 【面談】 衆院〈立民〉村上史好、〈共産〉清水忠史
- 【秘書対応】 衆院〈立民〉尾辻かな子、辻元清美、長尾秀樹、森山浩行〈公明〉鰐淵洋子〈国民〉平野博文
- 参院〈維新〉梅村聡、梅村みずほ〈国民〉浜野喜史、矢田わか子〈共産〉山下芳生、大門実紀史
- 【シャープニング】 臨床学術部は2日、保険医会館で「シャープニングセミナー」よりよいスクリーニングのために「シャープニング」を開き、22人が参加した。
- 衛生士の福池久恵氏が講師を務めた(写真左)。実技練習では、インストラクターが一人ひとりを回り、参加者の疑問に答えながら指導を行った。

## 物件案内

- 【面談】 衆院〈立民〉村上史好、〈共産〉清水忠史
- 【秘書対応】 衆院〈立民〉尾辻かな子、辻元清美、長尾秀樹、森山浩行〈公明〉鰐淵洋子〈国民〉平野博文
- 参院〈維新〉梅村聡、梅村みずほ〈国民〉浜野喜史、矢田わか子〈共産〉山下芳生、大門実紀史
- 【シャープニング】 臨床学術部は2日、保険医会館で「シャープニングセミナー」よりよいスクリーニングのために「シャープニング」を開き、22人が参加した。
- 衛生士の福池久恵氏が講師を務めた(写真左)。実技練習では、インストラクターが一人ひとりを回り、参加者の疑問に答えながら指導を行った。

## 談話室 たんわ室

# むし歯予防大会に参加して

### 伊津進弘 (八尾市)



本紙2020年新年号の取材で「むし歯予防全国大会」に参加した。ハイルスク者だけでなく、全体を対象にしたポピュレーション・アプローチ(PA)の予防策を強調していたのが印象的だった。

PAの際たるものは水道水フッロリデーションだ。米国の衛生局長官を務めたルー・テリーは

「近代4大公衆衛生施策」の一つに水道水フッロリデーションを挙げている。対象地域の誰もが恩恵を受けられ、安価で負担なく継続的にむし歯予防できるからだ。

「近代4大公衆衛生施策」の一つに水道水フッロリデーションを挙げている。対象地域の誰もが恩恵を受けられ、安価で負担なく継続的にむし歯予防できるからだ。

「近代4大公衆衛生施策」の一つに水道水フッロリデーションを挙げている。対象地域の誰もが恩恵を受けられ、安価で負担なく継続的にむし歯予防できるからだ。

「近代4大公衆衛生施策」の一つに水道水フッロリデーションを挙げている。対象地域の誰もが恩恵を受けられ、安価で負担なく継続的にむし歯予防できるからだ。



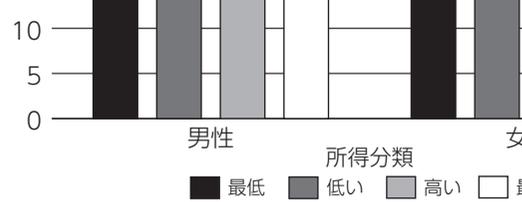
### 組織部 資金調達で開業セミナー

組織部は新規開業セミナー(全3回)の2回目「お金の基礎知識・資金調達」を1日に保険医会館で開き、14人が参加した。講師は、大野貴志氏(写真、吹田市開業)、春藤竜也氏(株ジャパコデンタル)。

組織部は新規開業セミナー(全3回)の2回目「お金の基礎知識・資金調達」を1日に保険医会館で開き、14人が参加した。講師は、大野貴志氏(写真、吹田市開業)、春藤竜也氏(株ジャパコデンタル)。

### 組織部

スパイス王子直伝 本格カレーに挑戦  
組織部は、「スパイス王子に学ぶスパイスカレー教室」を2日に開き9人が参加した(写真)。



「予防的な定期健診は保険で」と胸を張って言える体制が実現されることは、格差を減らす上で欠かせない。こうした環境の整備を進め歯を残すことにより、将来の歯科受診の増加と、全身疾患の医療受診の抑制につながるだろう。

(おわり)

健康格差の縮小には何が必要か。これには、従来型の保健指導や医療提供により「努力することができる個人だけが健康を享受できる」という公衆衛生のあり方を変える必要がある。自己責任だけではしばしば格差は拡大する。イギリスの研究では、小学校で歯科健康教育を行った結果、経済的に裕福な子どもたちでは歯肉やプラークの改善が認められたが、貧しい子どもたちでは改善しなかった。教育を受けても、親が経済的に困窮し時間的・精神的な余裕がなければ、毎日の歯みがきをきちんと実施するのは難しい。こうした家庭の子どもたちの健康を改善するには、学校で歯みがきやフッ化物洗口を行うという方法がある。学校で行えば、家庭環境に左右されずに恩恵が届きやすい。学校等での集団フッ

## 誰もが健康を享受できる社会へ

「定期健診の増加」は行政や歯科医師会からしばしば発信されるが、予防的な歯科受診は経済格差が大きい(図)。疾病給付の原則に縛られ(介護保険では介護予防が実施されているのに)、定期健診は原則自費で自己負担が大きいからだ。近年、部分的に進行予防のフッ化物塗布やシーラントが保険導入されているが、より適応を拡大して子どもも大人も「予防的な定期健診は保険で」と胸を張って言える体制が実現されることは、格差を減らす上で欠かせない。こうした環境の整備を進め歯を残すことにより、将来の歯科受診の増加と、全身疾患の医療受診の抑制につながるだろう。



東北大学大学院 准教授 相田 潤